

(事例38) 24歳女性、事務、先天性股関節異常のため通勤時間を変更

類型	症候	疾患
1	5. 歩行困難	16. 先天性股関節異常

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 24歳、男性 2) 業種、作業内容 事務作業、障害者枠採用		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 先天性股関節異常		
3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など ラッシュ時間帯では、通勤電車内で座ることができないため、時間差勤務を認めた		
4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など) 通勤による身体負荷が顕著であったため、ラッシュ時間帯の通勤を回避できるように、勤務時間の変更を行った		
5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可) ① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため		
6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください		